

2025 年日本国際博覧会 大阪パビリオン出展基本計画

2022 年 3 月

2025 年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

目次

はじめに	3
1. 2025 年日本国際博覧会の概要	4
2. 全体概要	6
(1) 全体概要	7
(2) 出展の意義	7
(3) 出展参加でめざすもの	8
(4) 出展参加のテーマ	10
(5) テーマ展開の方針	11
(6) SDGsへの取組	12
(7) 出展参加の主体 オール大阪での出展・府民市民参画	13
(8) 想定来館者数	14
(9) 関西広域連合との連携	14
3. 展示計画	15
(1) 展示基本方針	16
(2) 展示の概要	16
(3) 展示構成	18
(4) バーチャルパビリオンの方針と展開	25
(5) 多言語対応の方針	26
4. 建築計画	27
(1) 建築概要	28
(2) 設計の方針	28
(3) ハードレガシーへの対応	29
(4) 建築工事の方針	30

5. 行・催事計画	32
(1) 行催事基本方針	33
6. 商業活動計画	34
(1) 商業活動基本方針	35
(2) ゾーン・運用の概要	35
7. 広報計画	36
(1) 広報基本方針	37
8. 運営計画	38
(1) 運営基本方針	39
(2) 運営計画	39
(3) スタッフ計画	39
(4) リスク対応方針	40
9. 財務計画	41
(1) 財務基本方針	42
(2) 資金確保計画	42
(3) 現時点での大阪パビリオンの事業規模	42
10. レガシー	44
(1) レガシー基本方針	45
(2) ハードレガシー利活用の方針	45
(3) ソフトレガシー利活用の方針	46
11. 全体スケジュール	47
12. 推進体制について	49
(1) 大阪パビリオン出展基本計画の推進体制	50
(2) 実行法人の設立	50
(3) 市町村、府民・市民の参画	51

はじめに

「2025年日本国際博覧会 大阪パビリオン出展基本計画」は、2021年3月にとりまとめた大阪府・大阪市「2025年大阪・関西万博 出展参加基本構想」を受けて、具体的な出展場所、出展コンセプト、展示展開、建築計画などを掘り下げ、オール大阪でのパビリオン出展に向けた基本的な方針を示すものです。

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会では、大阪パビリオン総合プロデューサーである森下竜一氏のもと、多くの有識者、企業・団体などの方に参画いただきながら検討を進め、このたび、基本計画をとりまとめました。

今後、2025年日本国際博覧会全体での計画や規則などに対応して必要な調整を行うとともに、オール大阪で出展するパビリオンとして、様々な場でご意見をいただきながら実施に向けて進めて行きます。

1

2025 年日本国際博覧会の概要

名称	2025 年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会場	夢洲（大阪市臨海部）
開催期間	2025 年 4 月 13 日（日曜日）～10 月 13 日（月曜日）
来場者想定	約 2,820 万人



（提供 2025 年日本国際博覧会協会）

2

全体概要

(1) 全体概要

名称	大阪館（仮称）
出展テーマ	「REBORN」
出展参加でめざすもの	「世界に貢献する大阪の姿を示す」「大阪のパワーを世界に発信」
期間	2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）184日間
エリア	東エントランス近く 自治体等エリア

(2) 出展の意義

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界で大きな影響を与えていますが、大阪・関西万博は、COVID-19 を乗り越えた先の新たな時代に向けて「いのち」の原点に立ち戻って、世界が一つになるための第一歩を踏み出すものです。また、「誰一人取り残さない」持続的な社会をめざす SDGs 達成に向けた取組を加速させるとともに、2030 年の SDGs※の目標年の先に向けた姿を示すこともめざしています。

大阪・関西万博の開催都市である大阪は、難波津の昔から国内外の玄関口として、また日本の中で外交、内政、物流のネットワークの重要な拠点として内外から多くの人やものを受け入れ発展してきました。「天下の台所」として全国の米、特産物が取引され、我が国の経済を支えるとともに、優れた食文化をはじめ豊かな歴史・文化を築き上げてきました。

また、大阪人は持ち前の「進取の気質」により、これまで世界に先駆けた先物取引市場の開設や世界の食文化を変えたインスタントラーメンなど、新たな社会システムや産業、製品を数多く生み出してきました。町衆が支えた自治都市としての繁栄や近世では民生委員制度のもととなるしくみ（方面委員制度）は大阪から全国へ普及するなど、民の力が社会を支える風土も大阪の特徴といえます。

近年は、最先端のライフサイエンス研究拠点やオンリーワンの高い技術を有する中小企業が集積するとともに、国際的な観光・エンターテインメント都市としての存在感も高まっているところです。

このように大阪は、大阪・関西万博のテーマを実現していくうえで、なくてはならない知恵と技術力、行動力を有しており、「いのち輝く未来社会」に向けて貢献していくことができます。世界の国々が一堂に集まる万博にオール大阪としてパビリオンを出展することは、大阪のポテンシャルの世界的なアピール、魅力発信につながるとともに、協働するパートナーが万博開催を通じて多様な分野で融合することで生じる新たなイノベーションの創出に結びつける機会となります。これにより人々の生活の質(QOL)の向上や我が国の成長・経済発展に寄与していきます。

また、大阪がめざす「SDGs 先進都市」の実現に向けても大阪パビリオンでの実践、発信は大きな役割を果たすことが期待されます。大阪パビリオンは「いのち」、「健康」を軸にコロナ禍からの再生、未来への希望を生み出すための契機になっていきます。

※ SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030 アジェンダ」の中で規定された先進国と開発途上国が共に取り組むべき17項目の指標群のこと

(3) 出展参加でめざすもの

大阪・関西万博の開催目的を踏まえ、大阪は、オール大阪の知恵とアイデアを結集させ、訪れた人々が「いのち」や「健康」、近未来の暮らしを感じられる展示を実現するとともに、大阪という都市の活力・魅力を世界のより多くの人々に伝えていきます。誰もがわくわくしながら、驚きや新たな発見に満ちた感動が味わえるとともに、参加型のパビリオンとして、体験や共創を通じて、深く心に記憶され、新たな行動につながるようなパビリオンをめざします。

①世界に貢献する大阪の姿を示す

超高齢化社会の到来を見据えた人々の生活の質(QOL)の向上、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた将来像、誰もが心身豊かに快適に暮らしやすい未来社会のモデルを創造し、発信します。

◆生活の質(QOL)を向上させる展示

人々が健康寿命を延ばし、「10歳若返り」を感じられるなど心身ともに健康で生涯にわたりいきいきとした生活を送れるよう、生活の質(QOL)を向上させる展示を実現し、世界に発信することをめざします。

◆SDGs 達成に貢献する姿を示す

「いのち」に対する価値観や考え方が変わることで、「すべてのいのちが輝く」社会に向けた取組への貢献や持続可能な社会づくりに向けた先進的な取組など、SDGs 達成に向け、目標年次である 2030 年以降も見据えて取り組む大阪の姿勢を示し、世界に発信することをめざします。

◆未来社会のモデルを提案

新技術やサービスなどを実装・実証し、誰もが心身豊かで快適に暮らしやすい未来社会のモデルを創造し、提案できる取組をめざします。

②大阪のパワーを世界に発信

年齢、性別、国籍や文化を越えて世界中の人々が最先端技術を駆使した参加・体験型のエンターテインメントをリアルとバーチャルで体感し、交流する空間を演出し、大阪のパワーと魅力を世界に発信します。

◆世界中からのアクセスを実現

万博会場に来られない方でも、最先端の ICT 技術を活用したバーチャル参加など、世界中からパビリオンへのアクセスを実現するとともに、誰もが参画できるインクルーシブな社会づくりの実証の場ともしていきます。パビリオンを訪れた方にもバーチャル技術などを駆使し、大阪の未来の姿やパワーを感じてもらえる取組をめざします。

◆大阪の魅力を世界に発信

人の温かみや人情、コミュニケーション能力の高さなど、大阪ならではの「人そのものの魅力」や天下の台所・食い倒れの街と表現されてきた「大阪の食文化」などの魅力を世界に発信し、大阪と世界との交流を巻き起こす取組をめざします。

(4) 出展参加のテーマ

REBORN

大阪・関西万博に地元大阪が出展参加するにあたってのテーマは REBORN です。このテーマには“人”は生まれ変われる”、“新たな一步を踏み出す”という意味を込めています。

“人”は生まれ変わる”

私たちの誰もがこの世に生まれ、人生を歩む中で、日々様々な出会いや発見をくり返しながら「人」として成長し、年齢を重ねていきます。

万博を機にすべての「人」が自分らしい生き方をあらためて見つめ直すことで、自分自身の価値観や生き甲斐の発見・再認識、自己実現への意欲・意識の変革を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組を展開できればというものです。

“新たな一步を踏み出す”

人は自分が頼りにされている、何かの役に立っている、と感じると、やり甲斐を感じるのではないかでしょうか。家族の一員として、地域の一員として、国民として、地球市民として、今自分に何ができるかを再認識し、勇気をもって行動につなげていくことができれば、やり甲斐を実感し、それが活動の新たな原動力となって、世界中のあらゆる世代の「人」にとって素晴らしい世界が実現していくのではないかでしょうか。

一人ひとりの意欲・意識の変革が具体的な行動変容へつながり、互いに良好な関係を保ち、自分の居場所や役割を持つことができる社会創りに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一步を踏み出すきっかけになればというものです。

また、この「REBORN」に込められたメッセージである「人は生まれ変わる」、「新たな一步を踏み出す」をより具体化するため、「命から紡がれ、新しい命となるもの、育みつくりだすもの」という意味を込めて、「タマゴ」をモチーフとして用いることを検討しています。

(5) テーマ展開の方針

出展にあたっては、私たちが掲げるテーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から未来社会の新たな価値の創造に取り組みます。また、「知る・感じる」「体験できる」「みんなで参加できる」という観点から、展示やイベントを通じ本博覧会の3つのサブテーマ、「Saving Lives（いのちを救う）」、「Empowering Lives（いのちに力を与える）」、「Connecting Lives（いのちをつなぐ）」にアプローチします。

①生活の質（QOL）の向上に資する新たな価値創造

大阪府・大阪市では、誰もがいきいきと活躍できる健康寿命の延伸と「10歳若返り」の実現を目指し、取り組みを推進しています。新型コロナウイルス感染症との闘いの経験も踏まえ、「健康」の観点からの最新の技術を活用したイノベーションにより大阪発の新たな価値を創造し、最先端の医療や幸福な生き方のできる未来社会を具現化します。

②いきいきと元気に楽しく生きる提案

国籍や言葉が違っても、暮らす場所や生き方が違っても、仕事や趣味が違っても、「生き甲斐」、「やり甲斐」を感じながら、日々の暮らしをいきいきと元気に、楽しく過ごしたいとの願いは、老いも若きも同じです。「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」という観点から、「自分自身を見つめなおす」、「自己実現意欲を高める」、「自分らしい生き方を再認識・再発見する」、そのような体験を提供します。

③サイバーとフィジカルが融合した新しい社会を提案

近年、人工知能（AI）、IoT、5G 高速回線の実現など、最先端技術の進展に加え新型コロナウイルス感染症への対応により、ライフスタイルそのものを大きく変えていこうという動きが、世界の潮流となりつつあります。

大阪パビリオンにおいては、フィジカルな空間で取得し、サイバー空間に集積された健康・医療データを人工知能（AI）が解析し、IoT、ロボティクスなどの活用による新しい健康・医療を提案します。

また、パビリオンでのリアルな体験に加え、世界中の人々がアクセスできるバーチャル空間をより効果的に活用し、工夫を凝らした展示による新たなエンターテインメントの創出や交流の場の提供など、新しい社会を提案します。

(6) SDGsへの取組

「いのち輝く未来社会のデザイン」という大阪・関西万博の開催テーマには、国連が掲げる2030年の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にとどまらず、+beyond（2030年より先）への飛躍の機会となる期待が込められています。大阪府・大阪市では、あらゆるステークホルダーと連携しながら、一人ひとりがSDGsを意識し自律的に行動する「SDGs先進都市」の実現に向けた取組を進めています。万博開催都市として、世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献するため、大阪パビリオンにおいても「SDGs先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた先導的な取組を世界に発信していきます。

大阪パビリオンでは、特にゴール3「すべての人に健康と福祉を」を重点ゴールと定め、ウェルビーイングの実現に向けて、世界の人々の 健康に貢献していく新たな医療の提案や、最適な健康生活などについて大阪のポテンシャルを生かしながら取り組みます。



また、健康を柱に、食や生活環境などの観点から、関連する横断的な課題であるゴール1「貧困をなくそう」、ゴール12「つくる責任つかう責任」にも貢献していきます。



さらに、持続可能性の観点から環境配慮ナンバーワンのパビリオンをめざし、3Rやクリーンエネルギー活用などで先導的な取組を発信していくことで、ゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール14「海の豊かさを守ろう」、ゴール15「陸の豊かさも守ろう」の実現に貢献していきます。



大阪パビリオンの建築や展示、運営にあたっては、ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」、この他のSDGsの目標についても実践、先導していくよう、国や文化、性別、世代、障がいの有無などに関わらず、訪れるすべての方々が楽しめるようユニバーサルデザインに配慮した取組を進めていきます。



(7) 出展参加の主体 オール大阪での出展・府民市民参画

来館者に感動と貴重な経験を与えるパビリオンとするためには、地元大阪を中心に関西の様々な機関、団体が結集、協働し、計画段階から出展・運営まで一貫して取り組むことが大切です。このため、大阪府、大阪市に加え、経済界、企業をはじめ、大学や様々な団体、有識者など、多様な主体が参画する推進体制を構築し、出展参加の計画段階から大阪・関西万博の会期中において、府民・市民の参加と共に創を図りながら、多様な主体がお互いを信頼し、一人ひとりができるることを積み重ねていくことで、一丸となって取組を推進します。

産 ... 産業界・企業の力

大阪には進取の気質を受け継ぎ、日本経済の発展に大きな役割を果たしてきた企業が少なくありません。現在も、自由で個性的、バイタリティのある人材が集い、大阪商人のスピリットが受け継がれています。こうした人材や企業が持つ知恵と技術力を結集させ、新たな価値を生み出す舞台が大阪・関西万博です。万博開催前から様々な共創やチャレンジを積み重ね、大阪の企業の誇りと実力を世界に示すことをめざします。

学 ... 教育・研究機関の力

大阪を中心とする関西は、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」と親和性の高い、ライフサイエンス、食、スポーツ、エンターテインメントなどの分野の先進地域であり、これらに関する研究機関や大学などが集積しています。新型コロナウイルス禍を経験した今、未来の大阪を担う研究者や学生など若い世代の研究成果や知恵の国内外へのアピールの場、活躍の場となること

をめざします。

官 … 自治体の力

大阪府・大阪市においては、万博のインパクトを活かして、「世界一ワクワクする都市・大阪」の実現に向けた取組を推進しています。イベント・催事の展開にあたっては、大阪府、大阪市はもとより、府内市町村も地域団体と連携し、各地のブランドやアイデンティティ、ポテンシャルの国内外へのアピール、団体との協力や準備のプロセスそのものが万博の機運醸成につながり、それぞれの地域の発展に寄与することをめざします。

民 … 府民・市民の力

展示や行催事などの具体化に向けて、府民・市民が参画する仕組みづくりや連携、自己実現の場となることをめざします。

(8) 想定来館者数

過去国内で開催された万博の総来場者数と、主要パビリオンの集客実績、本万博の想定来場者から、万博期間中トータルでは約280万人を来館者数として想定します。バーチャルでの参加などでさらに多くの方の参画を見込みます。

(9) 関西広域連合との連携

関西広域連合のパビリオンは、大阪パビリオンと隣接し、一体的な大阪・関西エリアを形成していく予定です。オール関西で、その魅力を内外に発信していくために、屋外スペースの共用や情報発信などで協力・連携を図っていきます。